



菩提寺まちづくり協議会

平成23年6月25日

# まち協だより 12号

事務局 菩提寺まちづくりセンター内 Tel 0748-60-1381

発行責任者 事務局長 田畑 一佳

## さらにステップ 菩提寺まちづくり協議会！！

会長 三上 伸征

梅雨空のうっとうしい季節となりました。平素は、まちづくり協議会にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

3月11日に発生しました東日本大震災は、わが国に未曾有の被害をもたらしました。この震災による被災者や関係者の方々にお見舞申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈りいたします。

去る、平成23年4月23日に谷畑湖南市長を始め多くのご来賓の方々のご臨席のもと平成23年度の総会が、熱心な討議を経て無事終えることが出来ました。ひとえに区民の皆様のご協力のたまものと感謝しております。

さて、菩提寺まちづくり協議会は設立総会からはや4年目となりました。過去3年間の活動を振り返ると、設立当初は難題が山積し、何事も手探りの状態で活動してまいりました。これまでの活動を踏まえ、今年度から10年後のあるべき姿を目標に掲げ、4つの委員会と4つのプロジェクトの体制づくりを行ってまいります。

各委員会や各プロジェクトから広報委員を選出し、より広報活動にも力を入れ、また4つのプロジェクトは、期限つきではございますがより専門的に取り組めるようにと考えております。これにより、まち協活動が皆様によりわかりやすく身近なまち協へと変身してゆくものと思っております。



4つのプロジェクトの中には、湖南市「きらめき湖南枠」地域活性化推進事業も入っており、「良弁さんと活く歴史の郷」と銘打ち、事業を進めてまいります。その集大成として、予定ではありますが平成24年3月頃に「大きらめき祭」と題し、いろいろな催し

を計画しております。本年度も、大変忙しい一年となりますが、運営委員が一丸となって頑張ってお活動して行きたいと思っております。

去る4月12日の朝日新聞の朝刊に「菩提寺 かいわい」というタイトルで一面を使って、まち協に関する記事が掲載されました。菩提寺の文化を通じて新旧住民の交流活動が中心であり、まち協の掲げた活動が、日の目をみる形となり皆さんに大変喜んでいただきました。

最後に、湖南市には7つのまち協が設立されて、その活動も活発になってまいりました。その7つのまち協が力をあわせて、よりよい湖南市へとしていきたいものです。このように、まち協が各自治会、関係団体、学校などの横のつながりを密にして、より安全で安心な住みよいまちづくりへと活動を進めていきたいと考えております。どうかまち協へ、皆様の多大なるご協力をよろしくお願いいたします。



## 地域活性化委員会

委員長 浅井 基義

### 今年も フリーマーケット開催！

7月24日（日）に『第3回菩提寺まち協フリーマーケット』を開催します。地域の皆様の出店による衣類・日用雑貨・おもちゃなどのフリーマーケットの他、菩提寺でつくられた新鮮野菜やお惣菜の販売も行います。

また、地域活性化委員による生ごみリサイクル講習（生ごみで堆肥づくり）や、まち協役員によるかき氷販売など、大人から子どもまで楽し

めるイベントです。是非、ご参加ください。なお、駐車場に限りがありますので、徒歩・自転車でご来場いただきますようお願いいたします。

● **日 時**：7月24日 13時～16時

菩提寺商店街さんの抽選会と協同開催

● **場 所**：関西アーバン銀行横

フレンドマート前の広場

また、フリーマーケット出店者の募集も行っております。詳しくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

菩提寺まちづくり協議会事務所

TEL・FAX番号 60-1381



## 文化芸術委員会

委員長 高井 義三

### こころ和ませる路傍の シャクナゲ！

菩提寺地域の石造文化財が保存されている所を起点として、菩提寺山中腹あたりまでを「歴史の小径」と銘うって、整備を開始してから4年目に入りました。

石楠花・つつじは満開に、紫陽花も次は私の番だと言わんばかりに新芽をのぞかせています。

今年度も多くの方々に、散歩コース・癒しの場として活用して頂きたい、植林整備や小径の延伸活動に加えて、表示標識の充実化を計画しております。

今年度からの新しいテーマとしては、



廃少菩提寺古絵図に記されている「谷城跡（和田神社の奥）」の整備、「霧降の滝」の調査等、史跡の保存・発掘活動にも着手

する計画を進めております。

毎月第4日曜日の午前中は「歴史の小径」整備作業を行っています。興味のある方は、お気軽にのぞきにきて頂きたいと思っております。

「ちょっと、案内してほしいな。」と思われる方は、高井（74-1094）までご連絡下さい。



## 人材交流委員会

委員長 廣瀬 保

### 花いっぱい運動 PTA とボランティアとが連携！！

小学校の環境整備の一環として、本年度から春の花いっぱい運動を、菩提寺小学校のPTAと連携ではじめることになりました。5月6日に花の種（マリーゴールド、サルビア等）を蒔きました。5月31日に植え替えたところ、マリーゴールドは順調に芽が出て



成長していますが、サルビアは温度が低いのか成長が非常に悪いです。



菩提寺北小学校には、顧問の植中さまからルピナス(昇り藤)の苗の贈呈があり、こちらも植

中さまと保護者とボランティアとが一緒になって、子どもたちの登校する坂のフェンス沿いに苗を植えました。このルピナスの花言葉は“あなたは私の心にやすらぎを与える”です。藤の花を逆さに立てたような外見の花が咲くのが、今から楽しみです。

このように、両校ともまち協を通じて心やすらぐ「花いっぱい運動」を展開しています。



## 暮らし安全委員会

委員長 藤原 光司

### 23年度、取組み課題と活動計画

4月23日のまち協総会で承認された活動方針を基に、暮らし安全委員会の今年1年の取組み課題、活動計画を策定しました。

#### ☆ 取組み課題

- ・安心安全の取組み
- ・住民の絆づくりの取組み

#### ☆ 活動計画

5月15日「楽しいセカンド・ライフの為に」講習会出席者

26名中

(男性 11名  
女性 15名)



「楽しいセカンド・ライフの為に」講習会

6月5日 「防災体験スクール」講習会

出席者 31名 (男性 24名 女性 7名)



「防災体験スクール」講習会 2011/08/05

10月 防災チーム・リーダー研修会

11月 防犯講習会

- ・炊き出し訓練 (地区対抗ソフトボール大会で、ふるさと防災チームと連携)
- ・非常食を使った料理コンテスト (まちづくりセンター祭りで)

24年2月 防災講習会

3月 きらめき湖南

(「広野物語」コーラス発表会)



## きらめき湖南プロジェクト

リーダー 龍池 直明

「良弁さんと活く歴史の郷」がきらめき湖南地域活性化推進事業に採択される！！

湖南省では平成23年度が目玉事業として、きらめき湖南地域活性化推進事業を住民組織からの提案を受けて推進することになり、3月に市民学習交流センターに於いて、各区自治会を中心に200人を超える市民参加の中、7つのまちづくり協議会が、それぞれの提案事業についてプレゼンテーションを行いました。その結果外部審査員による査定を経て、5つのまち協

事業が決定されました。その中の一つに、菩提寺まちづくり協議会の歴史と文化に関する「良弁さんと活く歴史の郷」事業が採用されました。

天平年間、東大寺の大仏建立などに尽力された良弁僧正によって創建された大寺院・少菩提寺が存在した地域として1300年の古い歴史を持つ菩提寺地区は、石造遺跡など他の地域に誇れるものが数多く存在します。この事業は、

その歴史を後世に正しく伝え、日頃何気なく暮らしている地域のすばらしさを感じ、ふるさとに愛着や誇りを持つことによって郷土愛を育み、また地域の歴史を共有することによって芽生える連帯感や協調性を醸成することを目的とするものです。

具体的な個々の事業内容は

- ① 地域の歴史を学ぶ講習会等の開催
  - ② 児童生徒を対象にした「郷土学習」や歴史資料の充実
  - ③ 合唱組曲「広野物語」のメジャー化
  - ④ 菩提寺うまいもん教室開催
  - ⑤ 石造遺跡等の整備と探索
  - ⑥ 歴史交流の推進
- 以上



### 新消防団プロジェクト

リーダー 三上 伸征

#### 新消防団員 3名 誕生！！

平成 23 年 3 月に、3 名の方を新消防団員として推挙致しました。その人員の内訳は、イワタニランド区 1 名、サイドタウン区 1 名、そしてみどりの村区 1 名です。

平成 23 年 4 月 16 日、この 3 名は第 11 班の菩提寺消防団にめでたく入団し、現在消防団員として頑張っておられます。将来、新消防団設立の際には礎になれるものと期待しております。



### 地域インフラ対応プロジェクト

リーダー 保田 芳利

#### 高齢化の中で 住民の足を守るには??

地域インフラ対応プロジェクトは、「地域のインフラに関する住民の皆さんの要望をくみ取る」ことを目的に編成されました。当面優先して取り組む課題として、これまで暮らし支えあい委員会で検討してきましたコミュニティバスの利用促進をあげています。湖南省のコミュニティバスは、利用者の減少により毎年多額の赤字が出ています。このまま赤字が続くと便数が減り、よりいっそう不便になるという悪循環に陥ります。特に、高齢化が進む菩提寺地域にお

いて、住民の足を守っていくためには、少しでも利便性を高め、少しでも利用者を増やしていくことが大切です。これまでも、菩提寺まち協では他区に先駆けて、バス会社・湖南省との 3 者会議を行い、みどりの村区内への乗り入れや北山台区内のバス停増設などを実現してきました。

今後も住民の皆さんの声を聞きながら、利便性の向上に取り組みますので、コミュニティバス「めぐるくん」の応援をお願いします。



### コミュニティセンタープロジェクト

リーダー 栗津 寛三

まちづくり協議会の活動の拠点となるべきコミュニティセンターの活用方法を様々な角度から検討します。これからのスタートになります。



#### お詫びと訂正

「まち協だより 11 号」の安全環境委員会の記事の中で「阪神・淡路大震災」の発生日が間違っていました。正しくは、1995 年 1 月 17 日でした。ここにお詫びして訂正致します。

あとがき  
今年度から、菩提寺まち協は組織を新たにしまして再出発しました。各委員会・プロジェクトから広報委員が選出されて、まち協だよりも含めた広報活動に取り組むことになりました。地域の、みな様方のご指導・ご支援を仰ぎながら奮闘致します。どうか、よろしくお願い致します。